

オリンピックのつめあと

～ 1998年長野冬季オリンピックから10年～

長野市が所管するオリンピック関連施設は、以下の6ヶ所である。

- ・ビッグハット
- ・エムウェーブ
- ・ホワイトリング
- ・南長野運動公園
- ・アクアウイング
- ・スパイラル

建設費、長野市の歳出と歳入、利用者数は以下の表に示す通りである。この中でも特にスパイラル(ボブスレー・リュージュコース)の状況にご注目頂きたい。

ボブスレー・リュージュは、日本国内の競技人口が約300人と極端に少なく、利用料収入はほ

とんど見込めない。1億7千万円の運営費に対して、歳入は5700万円、そのうち5千万円は基金



エムウェーブ(スピードスケート)

の取り崩しでまかなっており、この基金はあと2年で使い切る。スパイラルはエムウェーブと合わせて、2007年度からナショナルトレーニングセンターに指定され、文部科学省から年に計2億円が補助されることになったが、これも当面は3年間限定である。長野市では持ちきれないので、国に移管したいのだが、なかなか国はOKしない。スパイラル以外の施設の管理者は以下である。

- ・ビッグハット、エムウエーブ
指定管理者エムウエーブ
- ・ホワイトリング
指定管理者フクシ・エンタープライズ
- ・アクアウイング
シンコースポーツ株式会社
- ・南長野運動公園
コナミ



スパイラル(ボブスレー・リュージュコース)

施設名	属性	建設費	年間歳出 (2006年度)	年間歳入 (2006年度)	五輪時の競技	利用者数
ビッグハット		191億円	8556万円	2505万円	アイスホッケー	35万7千人
エムウェーブ		348億円	1億5725万円	11万円	スピードスケート	35万6千人
ホワイトリング		142億円	8039万円	10万円	フィギア ショートトラック	14万6千人
アクアウイング		91億円	2億142万円	5万円	アイスホッケー	9万人
南長野運動公園		106億円	2億2777万円	1477万円	開会式・閉会式	35万6千人
スパイラル		101億円	1億7325万円	5755万円 (5千万は基金から)	ボブスレー リュージュ	1万人